



シリーズ

武雄の治水

vol.4

～水と共に生きるまちへ～

今回のテーマは

排水ポンプの役割

武雄市を流れる六角川には、国や県、市で設置した排水ポンプ場が合計10か所あります。今回は、排水ポンプの役割などを紹介します。

排水ポンプの役割

1

大雨時に地面に水が溜まります。

2

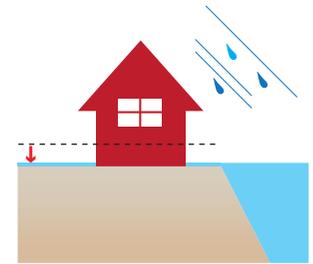
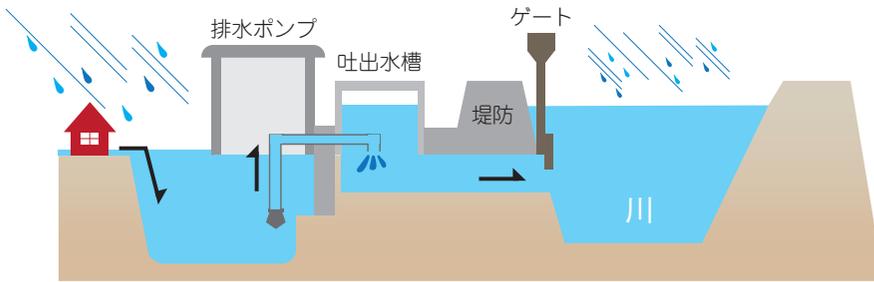
その水を排水ポンプで強制的に汲み上げます。

3

汲み上げられた水は河川に放流されます。

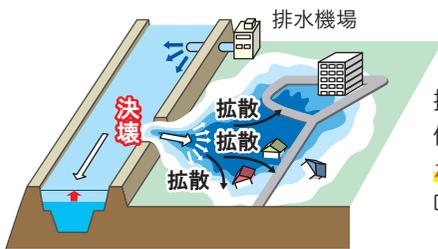
結果

地面に溜まった水の水位が下がり
建物や土地の浸水被害が軽減されます。



なぜポンプが停止するの？

排水ポンプで田畑や家屋側の水を河川に流し続けると、河川の水位が上がって堤防の高さを超えたり、堤防が決壊して大量の水があふれ、住宅を押し流すなど、**地域に壊滅的な被害をもたらす危険性があるから**です。



排水ポンプを停止させることを**ポンプの運転調整**と呼びます。

ポンプを停止させないようにできないの？

現在、六角川では、河川に放流できる水の量を増やすための緊急河道掘削工事が行われています。工事が完了すれば、昨年と同じ雨量が降ったとしてもポンプを停止させなくて済みます。



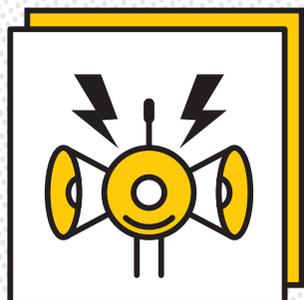
◀河道掘削工事

排水ポンプの運転調整（=停止）のルールなどは、国土交通省のホームページをご覧ください。



詳しくは 企画部 治水対策課 ☎0954-27-7097 | まちづくり部 建設課 ☎0954-27-7160

シリーズ武雄の治水 バックナンバーはこちらから▶



2022 防災フェスタ・ 治水シンポジウム in 武雄

とき

5月15日（日） 10:00～13:00

ところ

北方公民館

第1部

防災講演会

第2部

治水シンポジウム

防災体験
展示もあります！

